



平成 29 年 5 月 16 日

各 位

会社名 夢 展 望 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長 濱中 眞紀夫
(コード：3185 東証マザーズ)
問合せ先 専務取締役管理本部長 田中 啓晴
(TEL. 072-761-9293)

個別業績の前期実績値との差異に関するお知らせ

平成 29 年 3 月期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）の個別業績と前期実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 3 月期通期個別業績と前期実績値との差異

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前期実績 (A)	百万円	百万円	百万円	円 銭
平成 28 年 3 月期	2,460	△378	△570	△107.61
当期実績 (B)				
平成 29 年 3 月期	2,379	△183	△184	△34.84
増減額 (B-A)	△80	195	385	—
増減率 (%)	△3.2	—	—	—

※本記載の当期実績は、この開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続きが実施中です。

※本記載数値情報は、表示単位未満の端数切捨て、増減率の小数点以下第 2 位切捨て小数点第 1 位まで記載しております。

2. 差異の理由

経常利益及び当期純利益につきまして、衣料品等の商品原価率の低減に努めたことに加え、商品の発注方法の工夫等による過剰在庫の抑制、販売に関し細かい施策の実施により、商品の消化率の向上及び粗利益率改善に努めました。また、グループ会社である R I Z A P グループ株式会社のトレーニングウェア等の商品にかかる物流管理業務のコンサルティング、グループ会社であるマルコ株式会社の E C 事業推進支援業務を受託するなどグループ会社との協業活動を進めました。さらに当社の物流センターの移設による物流業務の効率化などによるコストの削減にも努めました。その結果、当下半年期のみ業績では営業黒字を達成することができ、上半期までの営業赤字を払拭するまでには至らなかったものの、各店舗軒並み回復傾向が明らかになってきており、今後においても更に回復・成長を加速化していく所存であります。

以上により、前期の経常利益及び当期純利益を大幅に上回る結果となりました。

以上